



「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)

緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー 太郎良 純香

今回は「アドバンス・ケア・プランニング」(ACP)とは、自ら希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で考え、周囲の信頼する方々と話し合い、共有することです。人生会議とも呼ばれています。

がんなどの命に関わる病気になると、ご本人にとっての最善の治療や療養の意思決定を支援していくために、インフォームド・コンセントのあり方が重要となります。医療者側からの患者さん(ご家族)が十分に理解できる説明と患者さん(ご家族)側からの大切にしていることや望んでいることなどの価値観や選好を共有し、合意して、方向性を決定していくプロセスが求められます。ふだんよりもしものときの話合いを大切な方としておくことをお勧めします。

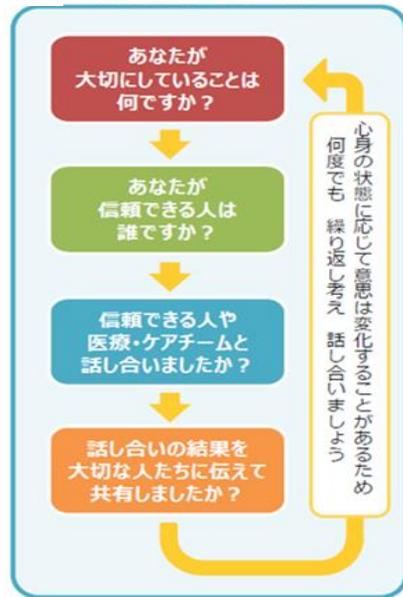
昨年度、緩和ケアセンターでは、ACPについての院内研修会の開催やホスピス緩和ケア週間での啓発に取り組みました。

がん看護外来では、インフォームド・コンセントの場面に同席し不安の緩和や意思決定支援に関わらせていただきました。

ひきつづき、現場の医療スタッフの皆様と協働しACPについて、取り組みを強化していきたいと考えています。どうぞ、宜しくお願いいたします。



アドバンス・ケア・プランニング 話し合いの進め方(例)



「がん患者におけるせん妄ガイドライン」のご紹介

緩和ケアセンター 精神科非常勤医師 大橋 綾子

今回は、2019年に公開されたせん妄ガイドラインについてご紹介します。それは「がん患者におけるせん妄ガイドライン」です！緩和ケア領域の2つの学会が合同で作成しました。この記事を書いている時点で、せん妄関連ガイドラインとしては日本で唯一のものです。「え？せん妄のガイドラインって3年前まで全然無かったの？」と思われたかもしれません。そうなんです。意外にも無かったのです。それまでは「せん妄の臨床指針」しかありませんでした。

今回やっとガイドラインという形で整えられました。唯一の短所かもしれない点は、『がん患者さんの』せん妄に特化している点です。

がん以外の基礎疾患によるせん妄は残念ながら含まれません・・・でも臨床上の対応としてはほぼ共通なので十分役に立つと個人的には思います。

- 日本サイコオンコロジー学会のサイトから無料で全文が閲覧できます
ぜひ検索してみてください。

<https://jpos-society.org/guideline/delirium/>



緩和ケアセンター

おとなりじゅん

乙成 淳 先生
(心療内科医師)



2022年4月に赴任致しました乙成淳と申します。心療内科医として約15年、患者さんの気持ちのつらさ、それに伴う身体症状、そしてそれらによって引き起こされる行動・生活上の変化に注目し、全人的な医療に心がけてきました。これまでの知識と経験を活かし、緩和ケアの分野でもお役に立てるよう、頑張りたいと思います。